

令和6年6月4日  
名城大学理工学部 社会基盤  
デザイン工学科  
中部 i-Construction 研究会

## 名城大学の学生が最新のインフラ DX を学びます！

～ 8年目を迎える『学生のための ICT 講座』今年も開催します～

国土交通省では、少子高齢化に伴う労働者不足など、現在「建設産業」が直面している様々な課題に対応するため、平成28年度より i-Construction を推進し、そのトップランナー施策の1つである、ICT 施工の普及・拡大を進めており、建設現場の生産性向上に努めているところです。

その一環として中部地方整備局では、平成29年度から管内の高校・高専・大学の学生を対象とした「学生のための ICT 講座」を開催し、建設産業の担い手確保の取り組みを実施しております。

将来の建設業界を担う若者に、建設業界への興味・関心をより一層持っていただくことを目的に、このたび名城大学の学生を対象に、地上型レーザースキャナーの実演などの講座を開催します。

※ i-Construction：国土交通省が実施している「建設現場の生産性革命」の取り組み

※ ICT：情報通信技術 (Information and Communication Technology)

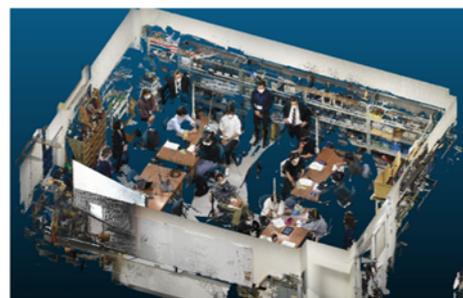
※ 地上型レーザースキャナー：レーザーを連続的に照射 (千～数百万回/秒) し、3次元データを取得する装置

### 1. 開催概要

- 1) 日時：令和6年6月18日(火) 13:30～16:20
- 2) 場所：中部インフラDXセンター(中部技術事務所構内)
- 3) 参加者：名城大学 理工学部社会基盤デザイン工学科(4年) 学生32名  
院生・教員等5名 合計37名
- 4) 講座内容：「学生のための ICT 講座 プログラム」参照【別紙-1】
- 5) 主催者：中部 i-Construction 研究会(中部地方整備局 企画部 施工企画課)



地上レーザースキャナー実演



教室内をスキャナーで読み取った3Dモデル

※写真：三重大学でのICT講座の状況(令和4年度)

2. 添付資料

- 【別紙－1】学生のためのICT講座 プログラム
- 【別紙－2】取材登録票
- 【別紙－3】中部インフラDXセンター施設紹介
- 【別紙－4】学生のためのICT講座カリキュラム例

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ

4. 取材申込 当日取材を希望される報道関係者様は、令和6年6月11日(火)17:00までに、必要事項を記載した「【別紙－2】取材登録票」をメールにて送付して下さい。

5. 問合せ先

中部 i-Construction 研究会 事務局（中部地方整備局企画部施工企画課）

建設情報・施工高度化技術調整官

建設専門官

竹原 雅文  
長谷川 公政

TEL 052-953-8180

E-mail [cbr-ict@mlit.go.jp](mailto:cbr-ict@mlit.go.jp)

# 学生のためのICT講座 プログラム

日 時：令和6年6月18日（火） 13：30～16：20  
場 所：中部インフラDXセンター(中部技術事務所構内)

## ■ 1回目

- 13：30～13：35 【挨拶】
- 13：35～13：50 【座学】
  - 講座名 中部地方整備局におけるインフラDXの取り組み
  - 講師 中部地方整備局 企画部 中部インフラDX推進室 室長 竹原雅文
- 13：50～14：45 【座学・実演】
  - 講座名 ICTを活用した測量技術について
  - 講師 (株)シーティーエス 中山俊彦氏
    - ※ (一社)日本建設機械施工協会会員，中部 i-Construction 研究会会員

講義室内で地上型レーザースキャナーを用いた測量のデモンストレーションを予定
- 14：45～14：50 【質疑等】
- 15：00～16：20 【DXセンターにて体験】
  - 遠隔臨場（ウェアラブルカメラ）、AR、VR等を体験していただきます。

## 備考（報道関係者様へ）

- プログラムの時間は目安であり、前後する場合がありますので、ご了承ください。

## 「学生のためのICT講座」取材登録票

- 取材を希望される報道機関におかれましては、事前のご登録をお願いします。  
登録は本登録票に記入いただき、期限までに下記へメールにて送付下さい。
- 取材希望の状況等により、人数を調整させていただく場合があります。

送付先 中部地方整備局 企画部 施工企画課

E-mail : cbr-ict@mlit.go.jp

送付期限 6月4日（火）17時

（下記にご記入の上、メールにて送付をお願いします）

報道機関名
ご氏名 フリガナ
予定人数 人
連絡先（電話番号） — —

「中部インフラDXセンター」では、現場と連携してバーチャル体験が可能な環境とデジタル機器を整備し、これらをインフラ分野で活用できる優秀な人材の育成に取り組んでいます。

## 1階 体験エリア

### 遠隔臨場体験



現地と離れた会議室を通信で結び、ウェアラブルカメラを用いた、会議や検査を想定した体験ができます。

### 遠隔操作技術の紹介



危険な場所などにおいて離れた安全な場所から、遠隔で建設機械を操作する技術を紹介しています。

### 新丸山ダムバーチャルフィールド紹介



新丸山ダムの「土工CPS」等を大画面で表示し、バーチャル空間でリアルタイムの工事現場状況(デジタルツイン技術)をご覧になれます。

### AR(拡張現実)体験



現地で簡単に図面などのデータ確認ができる体験として、埋設物が風景と重ね合わせて表示される端末の体験ができます。

### VR(仮想現実)体験



3次元設計データで作られた空間へ入る体験ができます。不具合の有無や完成イメージの確認、安全対策の検討などの体験ができます。

## 2階 研修エリア

### インフラDX研修



3次元の設計ソフトが使えるPCや大型モニタ、スクリーンのある研修スペースです。(研修用PC40台程度設置)

### 【所在地】

〒461-0047 名古屋市東区大幸南1丁目1番15号 (中部技術事務所構内)  
 ※ 地下鉄 名城線 「ナゴヤドーム前矢田駅」で下車、1番出口より徒歩1分  
 ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田駅」で下車、徒歩1分

### 【問い合わせ】

国土交通省 中部地方整備局  
 中部技術事務所 技術活用・人材育成課  
 電話番号：052-723-5704  
 URL：<https://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/dx/yakuwari/index.html>

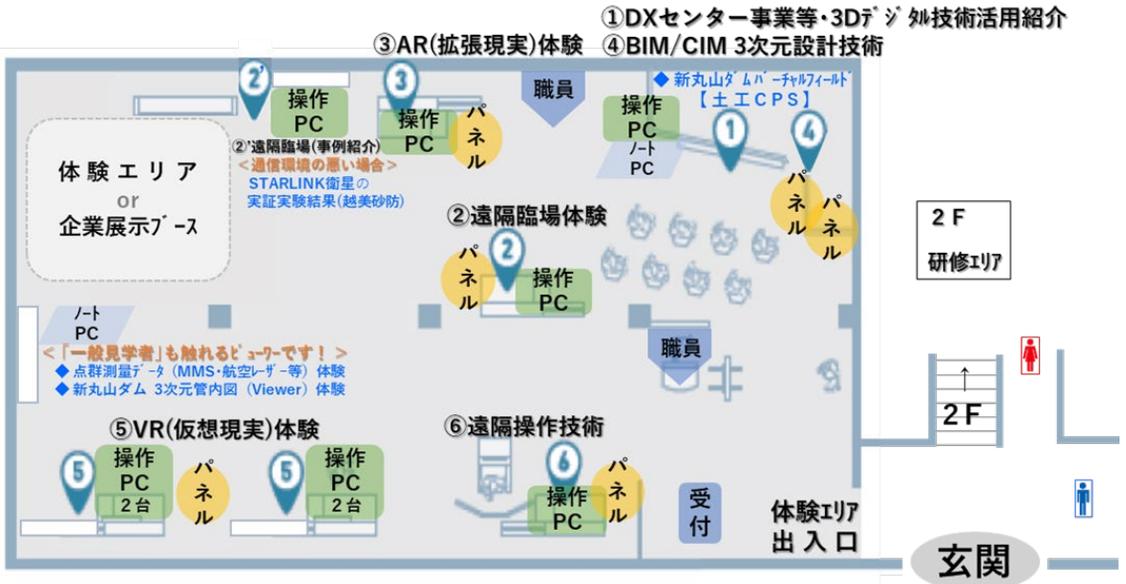


# DXセンター ご利用案内

中部インフラDXセンターによろこそ！！

ここには中部地方のインフラ分野のDX推進のため、様々な作業を便利にする機器があります。未来の作業現場がどのように変わっていくのか、ぜひご覧ください。

**1F**  
**DXセンター**  
**配置図**



ご利用については下記をご確認ください。

○：ご利用できます ×：ご利用できません

展示コーナー	各種	自由見学	体験予約	おすすめポイント
①中部地方整備局の インフラDX事業紹介 <DXセンター事業紹介>	パネル、映像10分	○	○	建設現場におけるDX推進の取り組み等について、映像で紹介します。 (新丸山ダムの「バーチャルフィールド」も画面表示)
	説明5分	×	○	
②遠隔臨場体験 働き方改革非接触型技術 <遠隔臨場体験>	パネル、映像5分	○	○	通信技術の進化による現場確認の手軽さと時間短縮を体験できます。
	説明5分、体験5分	×	○	
③完成物のAR画像を用いた 高い作業効率技術 <AR(拡張現実)体験>	パネル、映像3分	○	○	現実には見えない世界もスマホとAR機器で誰でも簡単に3D設計データをイメージできます。
	説明5分、体験7分	×	○	
④BIM/CIM 3次元モデル作成技術 <3次元設計技術>	パネル、映像8分	○	○	3次元モデル等の活用により、建設現場の安全性及び生産性を高めることを目指します。
	説明5分	×	○	
体験エリア or 企業展示	パネル	○	○	デジタル技術の「体験エリア」として、様々な体験を企画していきます。 DX大賞を受賞された企業の中から、展示を希望された企業の受賞内容等を紹介するエリアです。
	<体験等10分>	○	○	
⑤VR映像による 現場の疑似体験技術 <VR(仮想現実)体験>	パネル、映像3分	○	○	建設中のダムや橋梁等の世界をここ名古屋から自由に動き回って体験できます。
	説明5分、体験12分	×	○	
⑥無人化施工建機 危険を回避する遠隔操縦 <遠隔操作技術>	パネル、映像3分	○	○	遠隔操縦できるロボットを建設機械に搭載し、どこからでも無人化施工が行える技術を紹介します。
	(説明5分、体験10分)	×	(○)	
計	想定時間	<42分> 32分	(1時間36分) 1時間21分	各時間は目安とお考え下さい。 ( )は有資格者対応可能日のみ実施していますので、ご希望に沿えない場合もあります。

操作体験予約については  
右のQRコードからご確認をお願いします！



# 学生のための ICT 講座 カリキュラム例

【別紙-4】

## 【座 学】

- ・ 建設業界を取り巻く話題と最新の建設 ICT について
- ・ ドローン・レーザスキャナを用いた最新の測量技術について
- ・ ICT 建設施工と衛星測位
- ・ 現場で活躍する ICT 建設機械

随時  
募集

## 【実機デモ】

- ・ 地上レーザスキャナ (T L S)

## 【技術体験】

- ・ VR (ダムや橋梁等の仮想現実空間)



## 【問い合わせ窓口】

中部i-Construction研究会 事務局

国土交通省 中部地方整備局 企画部 施工企画課

〒460-8514 名古屋市中区三の丸2-5-1 名古屋合同庁舎第2号館

[T E L] 052-953-8180

[E-mail] cbr-ict@mlit.go.jp